



学校だより

空青々

第 1 号

鹿児島市立伊敷台中学校
令和 3 年 4 月 30 日発行

ともに成長する学校

校長 平田 和利

毎日、前向きに努力するすばらしい生徒たちに囲まれ、楽しく学校生活を送らせていただいております。生徒会役員が行っている



「朝のあいさつ運動」では、平成橋近くに立ち、子どもたちの明るく、元気な笑顔のあいさつに「今日も一日頑張ろう」と私自身多くのエネルギーをもらっております。

さて、お子様の入学、進級おめでとございます。令和 3 年度も新入生を迎え 540 人でスタートして、早くも 1 か月が過ぎようとしています。

学校は、教職員と子どもたちが一体となって学習に、学校行事に、そして部活動等に一生懸命取り組んでおり、活気にあふれております。特に新型コロナ感染拡大防止策としては、4月6日の簡素化した始業式、入学式に始まり健康管理、教室管理などに十分留意しながら教育活動を進めていく予定です。



1 年生にとっては、部活動紹介や生徒会入会式、清掃ガイダンスなどを通して伊敷台中学校の先輩達のすばらしさを実感したことと思います。異年齢清掃班活動による縦割無言作業や「そろえる美学」の考え方と実践によるきれいな学校づくり、そして、部活動紹介や生徒会入会式は説明を静かにしっかりとした態度で聞いている姿に、感心させられました。これから始まる中学校生活において、自分と周りの人みんなのいい点を見つけ、集団の中で磨き合って成長してほしいと思います。

2 年生は、今年の今頃からするとこの一年間で大きく成長した自分に気づくかもしれません。なかには悔いが残ったり、伸び悩んだりした人もい

るかもしれませんが、まだまだ大きく伸びるチャンスがあります。自分自身で目標を決めて、生活のリズムを整えて焦らずこつこつと努力してほしいです。

3 年生は、最上級生として部活動や勉強のことなど何事も悔いを残さないよう、自分の目標に向かって、仲間とスクラムを組んで納得のいく中学校最終学年を過ごしてほしいと思います。そのためには「何のために頑張るのか？」その目的、目標をしっかりとつこと。皆さんの限りない成長を心からお祈りいたします。

伊敷台中の生徒との出会いに喜びを感じ、生徒・教職員が一丸となって、ともに成長するよりよい学校づくりを推進したいと考えておりますので、保護者・地域の皆様、昨年度同様、本校の教育活動へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

「そろえる美学」から

伊敷台中学校には、「揃える美学」という言葉があります。校舎にはいるとき、自分の靴をきちんと靴棚にかかとを揃えて入れる。教室で靴を後ろの棚にきちんと揃えて入れる。トイレのスリッパを出船型に揃える。

このように私たちが集団で生活する上で揃えるべきことがたくさんあります。

また、体育の時間など集団行動で動きを揃えることもあります。これもみなさん一人一人の気持ちがそろわないと集団の美しさが伝わりません。

部活動などもそうです。集団でするスポーツなどはプレイヤーが一つの目標に向かって志（気持ち）をそろえることも何よりも大切です。このように、物を揃えたり、行動を揃えたり、気持ちや考え方を「揃える」ことがどんなに大切かということです。

実は、「揃える」ことの目的は整えることでの美しさの他にも大切なことがあります。それは、「揃える」ということから、一人ひとり人の心の

置き所や日常の生活の様子がよく分かるということです。子どもたちのくつやトイレのスリッパ、鞆などいつもきちんと並んでいるのを見ると、「その人の心は穏やかで落ち着いている」と安心します。しかし、履物や鞆などが揃っていないのを見ると、何かあったのかなと心配になります。つまり、「揃える」べきところで「揃っていない」と心が乱れている。揃っていれば心が落ち着いている」ということです。



更に「揃える」ということは「自分自身を見つめる」、「自分の行いを振り返る」ということにもつながるとしても大事なことです。

具体的に「くつの並べ方」で言えば、靴箱に自分の靴のかかとをきちんと揃えておくことを実行することで「ちょっと立ち止まって」自分自身を見つめたり、自分の行いを振り返ったりする習慣が自然と身についてきます。

そして、例えば「友だちと自転車で2人乗りをしよう。」と考えたときちょっと立ち止まって、「悪いことだ。交通違反だ。大きな事故を起こしてしまうかもしれない」など、冷静に自分の行いを振り返ることで、慎重に行動することに繋がります。

些細なことかもしれませんが、「揃える」ことをひとつひとつ積み重ねていくことには奥の深いものがあります。ご家庭でも話題にしてみてください。よろしくお祈りします。

想像から広がるもう一つの世界へ

子どもたちは、学校へ登校して朝の読書に取り組んでいます。この朝読書を通して、読書のきっかけをつくと共に、豊かな心を育み、学校全体の落ち着いた学習環境を整えています。

県では、「1日20分読書」運動に取り組んでいます。昭和35年、当時の県立図書館長であった椋嶋十先生の提唱による「母と子の20分間読書」から親子読書運動が始まりました。

「親子読書運動」は、親と子の、あるいは子ども同士のあたたかな交流を通して、豊かな読書の世界を子どもたちの中に広げていくことを目指しています。

また、4月23日（子ども読書の日）から5月12日までの期間は「子ども読書週間」となっています。

この機会に、「テレビやゲーム、スマホは少しやめて、家族で読書をする。」「我が家の読書の日を設定する。」「家族で読んだ本を紹介する。」など、家庭でどんな取組ができるか話し合ってみてはどうですか。読書を通じて、親子で夢中になったり、感じたことを語り合ったりできたらどんなに素敵なことでしょう。

交通安全について

本年、3月に鹿屋市で高校生が運転する原動付自転車に同乗していた中学生が亡くなる交通事故が発生し、今年24日には、鹿児島市において、自転車乗車中の高校生が転倒して路線バスにひかれる痛ましい交通死亡事故が発生しました。学校において、交通安全指導を行っておりますが、ご家庭でも安全な道路の歩行や自転車の正しい利用など交通安全についての確認をお願いします。

☆ ☆ 転 入 職 員 紹 介 ☆ ☆

令和3年度、10名の転入がありました。

教諭 村岡 秀俊 牧園中学校から
教諭 重山 敏行 種子島中学校から
教諭 前 裕大 山下小学校から
講師 道岡 知史 錫山中学校から
講師 小野 優子 西陵中学校から

【その他お世話になる先生方】

初任者指導教員 大戸 剛志先生 特別支援教育支援員 神村 牧子先生
市スクールカウンセラー 真鍋 亜紀先生 県スクールカウンセラー 平田 祐太朗先生
※ スクールカウンセラーのご利用は担任等を通じて気軽にご相談ください。

これからどうぞよろしくお願いいたします。

教諭 丸田 義宏 谷山中学校から
教諭 石原 明子 龍南中学校から
教諭 手塚 大成 新規採用
講師 古賀 康裕 期限付き採用
学校主事 濱平 隆 和田中学校から